

# Photo ふなばし

とくしゅう  
PART 2

安全で快適なまちづくり

## 進む南北道路整備

- 市政トピックス ● 街角ホットニュース
- 私のカメラアイ
- WE ARE IN FUNABASHI
- サークル通信

まちなかの文化財／ペットインタビュー  
ふなばしの民話

とくしゅうPART 1

春  
夏

ふなばしの野鳥

vol. 36

広報ふなばし写真版



④ スグロカモメ (船橋海浜公園に生息)



⑤ ミヤコドリ (船橋海浜公園に生息)



⑥ タゲリ (市内北部の水田に生息)



① ダイシャクシギ (船橋海浜公園に生息)



② サシバ (市内北部の林に生息)



③ アオバスク (神社、寺、屋敷林に生息)

とくしゅう  
PART 1

# 春夏ふなば

# しの野鳥

## 市内で見られる珍しい鳥

- ① **ダイシャクシギ**ー長大なクチバシ  
カラス大の大型のシギで、下に曲った長大なクチバシが特徴です。冬鳥として、船橋海浜公園に渡来し、五月の連休ごろまで見られます。シギ科、全長60cm。
- ② **サシバ**ー市内で繁殖するタカ  
市内の丘陵で少数が繁殖します。夏鳥。カエルやヘビを捕えて食べます。秋には、群れを作り、沖縄から東南アジア方面へと渡って行きます。ワシタカ科、全長49cm。
- ③ **アオバスク**ー連休前後に渡来する  
その名の通り、青葉のころに夏鳥として渡来し、市内で繁殖します。ホーホーと鳴きます。ゴロスケホーコーと鳴くフクロウもいます。フクロウ科、全長27〜30・5cm。
- ④ **スグロカモメ**ー中国大陸からの珍客  
冬鳥として、中国大陸から数羽が飛来する珍客。船橋海浜公園で春まで観察できます。⑩のユリカモメに似ているが、小型です。カモメ科、全長32・5cm。
- ⑤ **ミヤコドリ**ークチバシと脚が赤い  
クチバシと脚が赤く、体と翼が黒と白の美しい鳥。旅鳥または冬鳥だが、船橋海浜公園周辺では、夏の間にも観察記録があります。ミヤコドリ科、全長45cm。
- ⑥ **タゲリ**ー長い冠羽をもっている  
冬鳥として市内北部の水田に飛来し、春まで滞ります。長い冠羽が特徴的な大型のチドリです。近年、その数が減ってきました。チドリ科、全長31・5cm。

市内には、野鳥の生息する自然が数多く残されています。北総台地には、東京湾にそそぐ海老川、印旛沼にそそぐ神崎川や新川の支流が複雑に入り込み、谷地を形成しています。

東京湾岸の船橋海浜公園では多くの海辺の鳥が見られ、前記の川沿いの湿地や谷地田、北総台地上の畑や林では、山野の鳥が観察できます。船橋市内には、まだタカやフクロウの仲間さえ生息しているのです。注意して観察してみましよう。



丸山市民の森 (丸山3丁目)

水がぬるみ、新緑とともに野鳥のさえずりがどこからともなく聞こえてくる季節になりました。日本では現在550種以上の野鳥が確認されており、船橋市内でも様々な野鳥が身近なところで生息しています。今回は、春から夏にかけて市内で見ることができる野鳥のうち、代表的なものをとりあげてご紹介します。

写真と解説・志村英雄 (日本野鳥の会・専門委員)



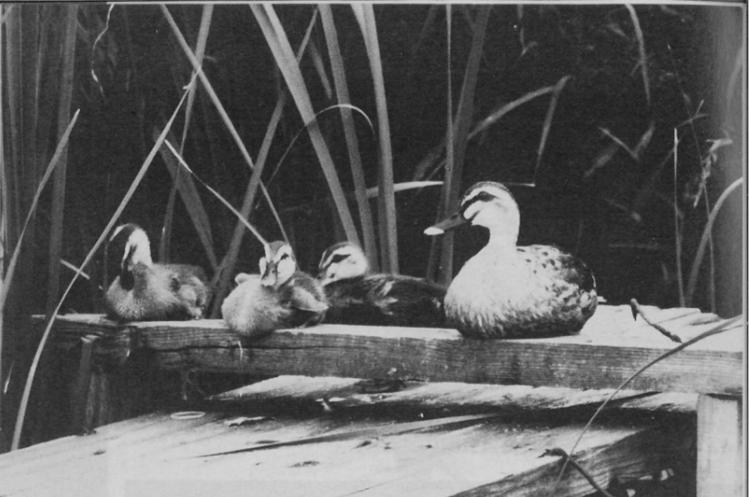
⑭ ヒヨドリ



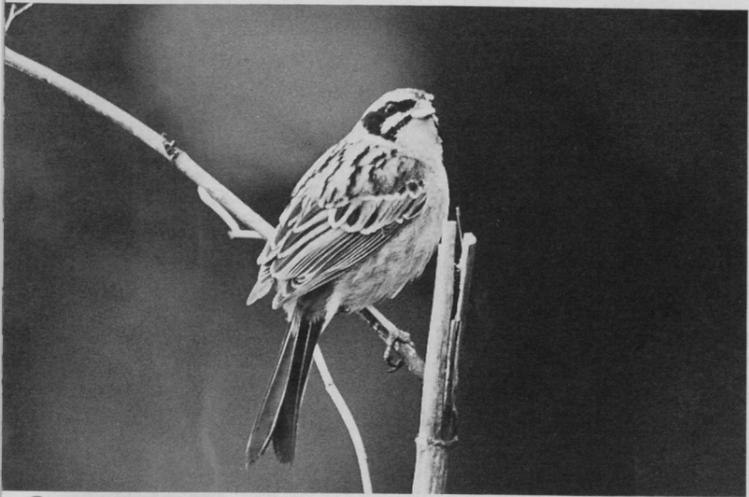
⑬ キジバト



⑧ カイツブリ



⑦ カルガモ



⑯ ホオジロ



⑮ ムクドリ



⑩ コサギ



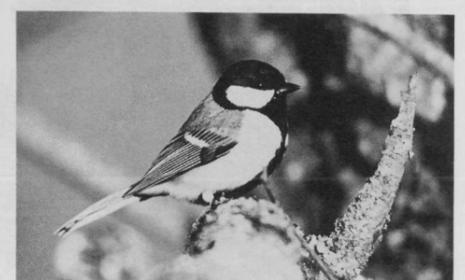
⑨ バン



⑱ コゲラ



小室北公園



⑰ シジュウカラ



⑫ ユリカモ



船橋海浜公園



⑪ コアジサシ

# 水鳥



船橋海浜公園

## 水辺の鳥



海老川

⑦カルガモー一年中見られる大型のカモ。都心の繁殖で有名。船橋市内でも繁殖し一年中見られる留鳥。雄と雌と同じ体の色をしています。クチバシの先端に黄色い斑がある。ガンカモ科、全長60・5cm。

⑧カイツブリー長時間潜水する水鳥。市内の川や池で繁殖し、留鳥。よく潜水し、小魚やエビなどの餌を採ります。長時間に潜るので、八丁潜りという異名をもっています。カイツブリ科、全長26cm。

⑨バンー黒い体に真赤な顔の模様。市内の川や池で繁殖し、留鳥。体は黒っぽい。脇とお尻の下に白斑があり、額からクチバシの基部が赤い。クルルルと鳴きます。クイナ科、全長32・5cm。

⑩コサギーシラサギの代表。干潟や池や水田に生息するシラサギの代表。脚指が黄色いのが特徴。繁殖期には頭に長い冠羽があります。留鳥ですが、市内に巣はありません。サギ科、全長61cm。

⑪コアジサシーダイビングして魚を捕る。夏鳥として飛来、埋立地で繁殖しますが数は減っています。黒い頭、黄色いクチバシが目立ちます。ダイビングして小魚を捕えます。カモメ科、全長28cm。

⑫ユリカモー別名はミヤコドリ。小型のカモメで、冬から春にかけて見られる冬鳥です。ミヤコドリという別名をもちますが、⑤のミヤコドリとはまったく別の鳥です。カモメ科、全長40cm。

## 山林・畑・水田の鳥



⑲ ツバメの巣とヒナ

⑬キジバトー山鳩とも呼ばれる。山林から民家の周辺まで、広く繁殖し、一年中見られる留鳥です。首にウロコ状の模様があります。テデッポーとくり返して鳴きます。ハト科、全長33cm。

⑭ヒヨドリー近年都市に進出してきた。スズメとキジバトの中間の大きさ。20年ほど前は、町中では冬だけ見られたのに、今では通年観察できる。尾が長く、ピーヨピーヨと鳴く。ヒヨドリ科、全長27・5cm。

⑮ムクドリーオレンジ色のクチバシと脚。ヒヨドリより小さく、尾は短い。クチバシと脚はオレンジ色。体は黒く、顔に白い模様があります。リヤリヤと鳴きます。留鳥。ムクドリ科、全長24cm。

⑯ホオジロー千葉県の県鳥。スズメより少し大きく、市内の山林で繁殖する留鳥です。雄は、体が赤褐色で、顔に白と黒の縞模様があり、雌は地味な体色をしています。ホオジロ科、全長16・5cm。

⑰シジュウカラー黒いネクタイ。スズメと同大で、市内の市街地や林で繁殖する留鳥。頭が黒く、ほほが白いので、ホオジロと勘違いしないように。ツツピと鳴きます。

⑱コゲラー日本一小さいキツツキ。ほぼスズメ大のキツツキ。市内の林でも繁殖する留鳥。ギイ、ギイと鳴き、波型を描いて飛びます。近年、都市部へも現れるようになりました。キツツキ科、全長15cm。

⑳ツバメー人家の軒先で営巣。夏鳥として渡来し、人家の軒先に営巣し人間の暮しと密着した生活をしています。深い切れ込みのある尾は、燕尾と呼ばれ、燕尾服の語源。ツバメ科、全長17cm。

以上、⑦から⑱の13種に、スズメやカラスを加えたものが基本種です。ゆっくりと観察してみましょう。

# 安全で快適なまちづくり 進む南北道路整備



3月3日開通した3・4・25号線。手前を左右に走るのが国道14号



沿道の商店街もおしゃれになった

市では、交通渋滞解消を図るため道路整備事業を推進しています。3月3日には、都市計画道路3・4・25号線(宮本古和釜町線)のうち、大神宮下交差点から国道14号までが開通、国道から市場方面への交通が便利になりました。また、6月には行田団地から国道14号まで(3・4・22号線)も開通予定です。今回の特集では、この二本の南北道路を写真で紹介いたします。

安全で快適なまちづくり

進む南北道路整備



会報「ほおじろ」の編集や探鳥会の企画などに忙しい財団法人日本野鳥の会千葉県支部のみなさん。今回の特集では写真をはじめ、解説にいたるまで多大なご協力をいただきました



② ワンパク王国。JR船橋駅北口小室駅行き、もしくは豊富農協前行きで「ワンパク王国」下車。(船橋市豊富町6番地 ☎576627)



③ 市内北部の代表的な探鳥地「船橋民の森」。JR船橋駅北口から小室駅行き、または豊富農協前行きで「民の森」下車 (大神保町)



天沼弁天池公園(本町7丁目)



① 京葉地区の代表的な探鳥地のひとつ、船橋海浜公園。人が少ない平日が探鳥に適している。JR船橋駅南口京成バス6番乗り場から丸善鉄鋼所行き「二俣新道」下車、徒歩20分。(船橋市潮見町40番 ☎350828)

④ 2月に整備が終了した丸山市民の森。広さ1万4千平方メートルのこの森では、地元のみなさんが自ら手入れをして、鳥の餌場などを設けて、「丸山サンクチュアリ」として野鳥観察を続けている。(丸山3丁目)



御滝不動(金杉6丁目)

行田公園(行田2・3丁目)



## 船橋市の探鳥地

① 船橋海浜公園―潮見町40番  
船橋市潮見町にある海浜公園は、海辺の鳥の絶好の観察ポイントです。ダイシャクシギ、ズグロカモメ、ミヤコドリなどの珍しい鳥の他にも、多くの水鳥が生息しています。

② ワンパク王国・船橋民の森  
ワンパク王国(豊富町)・船橋民の森(大神保町)は、山野の鳥の生息地です。周辺地区の山林や水田も含め、多くの野鳥が観察できるでしょう。

③ 丸山市民の森―丸山3丁目  
船橋市丸山の丸山市民の森も、山野の鳥の生息地です。地域住民の活動もさかんです。この他、海老川周辺や金杉あたり、それに市北部に広がる谷津田でも、気軽に野鳥の姿を楽しむことができます。

今度の休日には、双眼鏡と野鳥図鑑とお弁当を持って、家族で船橋の野鳥を観察されてはいかがでしょうか。

● 探鳥会のお誘い  
船橋野鳥の会(日本野鳥の会千葉県支部内)では随時、探鳥会を行っています。お問い合わせは、①日本野鳥の会千葉県支部(〒273船橋市宮本2-14-21 第一吉田ビル202 ☎0474-3716521) または、②里田弘志(☎0474-3110764)までどうぞ。

また、「丸山サンクチュアリ」では丸山市民の森(丸山3丁目)を中心に探鳥会を行ったり森の手入れなどを行っています。(代表・三神鶴吉 船橋市丸山2-17-7 ☎0474-13816076)



国道14号(海神6丁目)から右上方の行田団地へ伸びる3・4・22号線。周辺道路の渋滞解消へ早い開通が待たれる(平成元年10月撮影)



行田団地から工事中の3・4・22号線を望む



行田団地の中央を走る片道2車線のこの道路は3・4・22号線の一部です



海老川と並行して中央を南北に走る3・4・25号線。開通とともに交互通行道路となり国道14号から市場、芝山方面への通行が便利になった(平成元年10月撮影)



3・4・22号線と京成本線が交わる白梅架道橋



国道14号から3・4・22号線を望む。奥に白梅架道橋が見える



整備前の京成大神宮下駅の踏切。自動車一台がやっと通れるほどの幅しかなかった(昭和63年)



道路整備に伴い踏切も広くなり歩行者も安心して渡れるようになった



3・4・25号線の開通式でテープカットを行う右から長竹達夫県・街路モノレール課主幹、大橋和夫市長、滝口四郎市議会議長、矢橋知巳宮本自治会連合会会長



社殿を見守るように立つ大椎(しい)

(文責・大木 勲)

春日神社は西図書館に隣接して、多分、船橋随一といつてよい見事な松の緑の中に鎮座します。国道十四号線から花崗岩の鳥居(昭和四年二月建立)をくぐり、一步を境内に踏入れる。踏み入れてちよつと驚く。境内は荒れるにまかせている。紙屑や空罐、そして焚火の跡。急な石段を登る。巨松中の一本の大椎(しい)が石段を覆うが如く広がっている。松の枯葉を踏んで社前に立つ。左手に碑があり読んでみると、社殿は昭和三十八年八月十二日焼失、四十三年一月再建とあり、再建の費用は印内町共有墓地の整理事業の中から一部捻出したとのこと。火災に懲りたか、社殿はいまコンクリート造り、スレート瓦葺で、まるで神輿庫のようにも見える。ただ祭神・天児屋根命の奥宮の方は木造の、古趣のままに残っている。社前の石燈籠(明治四十三年九月建立)も風化がすすんでいる。歳月の流れに思いを馳せていると、折からの松声ひとしきり、猛く、物悲しく、心に沁み入る風の音。それにしても、遠くから見ても、近くで眺めても、亀甲(きつこう)文様を積み上げて、巨松の姿の何と美しいことか。

### 新ちかのか文化財

#### 春日神社 (印内町)



木もれ日の中、静かにたたずむ奥宮

3月3日、船橋大神宮から国道14号に抜ける道路が開通、テープカットが行われました。この道路は、都市計画道路3・4・25号線(宮本古和釜町線)の一部。全体的には、国道14号から市場・芝山・高根木戸を経て古和釜十字路まで総延長約8・8kmの道路を整備することになっていました。現在までに、今回開通した区間を含め、国道14号から芝山団地北側までの約5・4kmの整備が完了したことになります。平成元年度の市民意識調査で「行政施策の中で特に力を入れてほしいもの」という問いに対して、国道・県道など幹線道路の整備という答が一番多いという結果がでています。市でも、都市基盤の整備を市政の重点施策としていますが、中でも道路の整備には特に力を入れ、事業を進めています。国・県道については、それぞれ国・県に強く働きかけ整備の促進に努めるとともに市の都市計画道路などの早期完成に向け、毎年多額な予算を投入しています。平成2年度についても、都市計画道路12路線の整備をはじめ、市民にとって身近な生活関連道路の新設、拡幅、見通しの悪い交差点の改良、歩道設置など様々な整備を進めていきます。この6月には都市計画道路3・4・22号線(西浦町藤原町線)のうち、行田団地から国道14号までの区間が開通する予定です。この道路が開通すると、今まで行田団地方面から国道14号に抜けるためには、狭い京成海神駅前や京成西船駅前通りを通るしかありませんでしたが、真つすぐ国道まで行くことができるようになるので、両駅周辺の交通渋滞緩和にも役立つと考えられます。道路の整備には長い時間を必要とします。比較的工事が早く完了した大神宮下の道路でも7年もの歳月がかかっています。市では、市民の期待に応えるため、これからも市民の皆さんのご協力を得ながら、快適で安全な道路づくりを進めてまいります。

2月23日(金)、第4回船橋市生涯学習研究大会が文化ホールと中央公民館を会場に約1,100人が参加して開かれました。團伊玖磨氏の記念講演の後、「高齢社会を考える」「市民参加の国際交流」など八つの分科会に分かれ活発な意見交換が行われました。

熱気あふれる分科会



生きがいある生活をめざして  
船橋市生涯学習研究大会

市民大学公開講座  
五木寛之氏の講演会

「愛すべき緑の地球は今」をメインテーマに行われた平成元年度の市民大学。その最後を飾る公開講座が、2月24日(土)作家の五木寛之氏を講師に、中央公民館で開かれました。「トスカを越えて」と題した講演では、氏の様々な実体験を踏まえた話に、参加された皆さんは熱心に聴き入っていました。

聴衆を魅了した五木寛之氏  
市長賞を受賞した野田節子さん

教育研究論文・実践記録授賞式

2月27日(火)、平成元年度教育研究論文・実践記録授賞式が総合教育センターで行われました。今年度は小・中学校から34点もの応募があり、10人の皆さんに市賞、教育長賞などが授与されました。

記録授賞式



市内小中学校の教職員を対象に  
昭和41年から実施されている



新記録  
342回!  
長縄跳び大会  
芝山東小が初優勝

みごと優勝した芝山東小の皆さん

2月25日(日)、運動公園体育館で第3回長縄跳び大会が行われました。当日は市内全小学校55校が参加、会場は子供たちの歓声に包まれました。大会は、芝山東小が342回という大記録で、341回の若松小に1回差というスリリングな優勝を果たしました。なお、5位の湊町小までが今までの記録を更新するなどすばらしい大会となりました。



熱がこもる作戦会議



市内全小学校が参加して行われた長縄跳び大会

綱引き大会  
高根小PTAチームV2達成!

2月25日(日)、運動公園体育館で第2回綱引き大会が12チームの参加で行われました。各試合とも熱戦が繰り広げられましたが、前回優勝の高根小PTAチームが強さを発揮、V2を果たしました。



圧倒的な強さでV2を勝ち取った高根小PTAチーム



熱心に医療センターを視察する一行

デンマークから  
親善使節団が来船

2月16日(金)、デンマーク王国フン郡・南ユトランド郡親善使節団が船橋市を訪れました。一行は、デンマーク大使館領事ベツ・リンドブラッドさんをはじめ、船橋市と昨年4月に姉妹都市を結んだオーデンセ市のあるフン郡の知事など12人。一行は、大橋和夫市長を表敬訪問したあと、電子計算課、医療センターを視察、船橋市の医療・福祉行政や市民への情報伝達、電算処理等の情報技術システムなどについて、意見交換を行いました。



大橋和夫市長を表敬訪問する団長のジョン・ピーター・フィスカー・フン郡知事

船橋市文化・スポーツ振興  
基金成績優秀者表彰式

2月22日(木)、船橋市文化・スポーツ振興基金の表彰式が行われました。この基金は、市内の小・中・高校などの文化・スポーツ活動の振興を目的として設置されたもので、今回は、32校から406人が表彰を受けました。



大橋和夫市長から賞状とメダルを受ける受賞者の皆さん

広がる友好の輪  
青少年国際交流フェスティバル

3月4日(日)、勤労市民センターで第2回青少年国際交流フェスティバルが行われました。市内にお住まいの外国人と市民の皆さん、特に青少年を対象としたこの交流会には約100人が参加、和気あいあいとした雰囲気の中で、ディスカッションやオークションなどで楽しいひとときを過ごしました。



大好評だったオークション



クルマザ・ディスカッションでは、国の話題など活発な意見交換が行われました



潮干狩り情報(テレホンサービス)  
☎0474(37)2525

ふなばし海浜公園 7月8日まで

潮干狩り場オープン

●心地よい春の潮風を体いっぱい受けながら潮干狩りしてみませんか。

料金  
○おとな(中学生以上) 800円  
○子ども(満4歳以上) 500円  
■採貝量は一人1kgまで

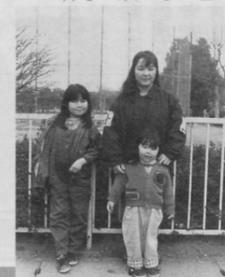
潮見表 □日・祝日

開催日	干潮	潮干狩りができる時間
4月12日(木)	11:54	10:30 ~ 13:30
13日(金)	12:20	11:00 ~ 14:00
14日(土)	12:50	11:30 ~ 14:30
15日(日)	13:20	12:00 ~ 15:00
22日(日)	9:00	7:30 ~ 10:30
23日(月)	9:37	8:00 ~ 11:00
24日(火)	10:11	8:30 ~ 11:30
25日(水)	10:49	9:00 ~ 12:00
26日(木)	11:26	9:30 ~ 12:30
27日(金)	12:06	10:30 ~ 13:30
28日(土)	12:50	11:00 ~ 14:00
29日(日)	13:36	12:00 ~ 15:00
30日(月)	14:29	13:00 ~ 16:00
5月1日(火)	15:39	14:00 ~ 17:00
2日(水)	17:04	15:00 ~ 17:00
3日(木)	18:27	16:30 ~ 17:30
5日(土)	8:38	7:30 ~ 9:30
6日(日)	9:07	7:30 ~ 10:30



近くの公園で人の姿を多く見かけるようになると春を感じますね。  
村上真紀さん(習志野台5)

公園に子供の姿を多く見かける時ですね。  
高城千恵子さん(小室町)  
杏子ちゃん(長女・左)  
祥子ちゃん(二女・右)



御不動様の桜が咲いて来ると春だなーと思います。  
斉藤八重さん(金杉9)

桜の花が咲いた時ですね。  
奥山浩美さん(丸山1)  
侑生ちゃん



4月になってこぶしの花が芽ぶいた時ですね。  
伊藤 保さん(北本町2)

テーマ  
あなたは、どんなとき春を感じますか?

平成元年 定期演奏会  
小栗原小合奏クラブ定期演奏会

全国レベルの実力を誇る小栗原小学校合奏クラブ。その定期演奏会が2月25日(日)、父母や先輩など大勢の皆さんが見守る中、同校体育館で行われました。会場には、昨年から音楽を通じた交流を続けている岩手県千厩町立奥玉小学校の金管バンドの子供たちなど40人も招待され、約7か月ぶりの演奏を楽しんでいました。一行は前日から合奏クラブ員などの家庭にホームステイしており、さらに友好を深めあいました。



6年生の皆さんにとっては最後の演奏会となりました



父兄や先輩も応援に駆けつけてくれました

輝いています  
第二の人生

木下寿代さん(田喜野井2)

「人がこの家に集いはじめたら、家にとじこもっていたときには見えなかった世界が見えてきました。」  
木下さんは、昨年10月から自宅の一部を開放、様々な趣味の教室を開いています。それは、まるで私設公民館。おじゃましたこの日も、パッチワークの教室があるため、生徒さんがぞくぞく集まってきました。「もうじき定年なので、自分の生き方を考えているうちに『これはやらなくては』と思い、家中の猛反対を押し切って始めました。とにかく若い人と接したいんです。将来は、和紙のちぎり絵や水墨画なども始めて、毎日何かの教室を開いていきたいですね。5月にはバザーを開くので、皆さんぜひ遊びに来てください。」  
笑顔で部屋中を忙しく動き回る木下さん、さながら水を得た魚のようでした。(趣味の集い：☎78-5451)



気持ちはいつまでも若くありたいとおっしゃる木下さん。(後列右から2番目)パッチワーク教室の皆さんと共に

町会・自治会コーナー

このページでは、皆さんの身近な出来事を紹介しています。情報がありましたら広報課までご連絡下さい。☎2015

大仏追善供養

江戸時代から続く民俗行事



湊町小の児童も参加。神妙に手を合わせていました

文政8年(1825年)から毎年行われている「大仏追善供養」が2月28日(水)、本町3丁目の不動院で行われました。これは、延享3年(1746年)の津波の犠牲者や漁場紛争で獄死した漁師を供養するもので、当日は、同院にある釈迦如来座像に、漁業協同組合の皆さんがご飯をぬりつけ、犠牲者の供養をしました。このご飯は、無病息災にきくといわれ、訪れた皆さんは、早速味わっていました。



大仏に飯粒をぬりつけるのは全国的にも珍しい

市内の小・中学生と園児が  
海老川にサケの稚魚を放流



大きく戻って戻って来てねとシロサケの稚魚を放流する子供たち

2月24日(土)、市内小・中学校(17校)と幼稚園(1園)の子供たちが海老川にサケの稚魚を放流しました。この稚魚は、市内高根台の斉藤隆さんから各学校に寄付されたシロサケの受精卵を子供たちが自分たちでふ化させてきたものです。「帰ってきてネ」と海老川に放された稚魚たちは元気よく下流に向け泳いで行きました。

元大関若嶋津の松ヶ根親方  
市内古作町に松ヶ根部屋を創設

2月18日(日)、大相撲の元大関若嶋津の松ヶ根親方が二子山部屋から独立して創設した松ヶ根部屋が古作町に完成、二子山理事長はじめ横綱千代の富士、二所一門の親方衆、関取衆など500人を集めて「土俵開き」が行われました。当日は、横綱千代の富士の土俵入りや幕内力士のぶつかりげいこも行われ、新しい部屋の誕生を祝いました。



部屋開きを祝う鏡割り(左から二子山理事長、松ヶ根親方、大橋和夫市長)



土俵入りをを行う横綱千代の富士

見ると、蛇が雉(きじ)をくるぐると巻き付け、今にも飲み込もうとしていました。与兵衛とんは、蛇をきつと睨み付け、「雉を放してやりなッ」といって、緘で払い除けました。そのため、蛇は雉を



むかし、山野村(現・西船一丁二丁目周辺)と西海神村(現・海神四丁五丁目周辺)の境を流れる大刀洗川(たちあらいがわ)の奥に蛇沼(じゃぬま)と呼ぶ沼沢地がありました。ある時、近くの村の百姓の与兵衛とんが、野良仕事のために、蛇沼の側の道を通りました。すると、数(やぶ)の中から、ケイケイといとけたまう鳥の鳴き声が聞こえてきました。そこで、与兵衛とんは、と立ち止まり、その声のする場所に行ってみました。

突然ケンケンとして、非常時を知らせるような鳥の鋭い鳴き声がありました。その方向に目をやると、松の梢で、雉が羽をばたつかせながら、何かを訴えるように鳴いていました。与兵衛とんは「さてさて、不思議なことあるもんだ」と呟きながら、何気なく傍らの古木を見上げました。次に、びっくりしました。古木の太い枝には、村の鎮守様の注連縄より大きい大蛇がいて、与兵衛とんに飛び掛かろうとしていました。与兵衛とんは、とつさに鎌で身構え、大蛇の難から逃れ、やつの思いで退治することが出来ました。与兵衛とんにこの危機を知らせたのは、何時か与兵衛とんが助けてやった雉だったということですが、また、与兵衛とんは、終生この雉を思い、感謝をしてきたということです。

雉の恩返し

文・村上昭三

放し、何処となく消えて行きました。また、九死に一生を得た雉も、高台の方へ飛び去りました。それから、何ヶ月か過ぎました。与兵衛とんは、何時ものように、背中には鍬と鎌の入った籠を背負い、蛇沼の側を歩いていました。その時です。崖の上から、



蛇沼があったといわれる西船2丁目あたり

ふなばりの民話

私のカメラアイ

神社仏閣を撮る

(写真と文) 関 全一郎(海神1)



私は神社仏閣が好きなので遠近にかかわらずよく出掛けます。祠的なものから、重要文化財、国宝級の大寺院、神殿、それに付随する庭園、建築物などに深い感動をおぼえます。そして写真に収めませんが、この種の作品は得てして絵葉書的になりがちです。それにならない様に心掛けています。また有名寺院などで多くの外国人を見かけますが、その人たちが



私のカメラアイ

字に自分の味が  
出せるようにしたいですね

吉見富美子さん（夏見台1）



**ART**  
「子どもが書道を習い始めたのがきっかけで始めたんです。最初は遊びのようでした。吉見さんは、昭和43年、夏見台団地の完成と同時に東京から越してきました。書道も運よく、東京での先生から近く、先生を紹介してもらい、続けることに。こちらの先生が厳しい方でよく練習しました。お子さんの高校受験などで忙しい時期も、夜中に練習するなどしてがんばり、7年で師範に。『書くのが好きなんです。資格を取るためだけに続かなかったでしょう。』現在は、年8回程度展覧会などに出品する傍ら老人クラブの役員、母子福祉推進員を精力的にこなしています。字に自分の味を出せるように努力しているという吉見さん、書道が好きなたちと楽しみながら筆を持つのが夢だそうです。

まい  
ふあしよん

色は黒と茶色、デザインは  
シンプルなものが好きです

鶴岡弥生さん（本町4）



黒のタイトなワンピースとボレロのコーディネートがスラリとした長身をさらに際立たせています。鶴岡さんは20歳の社会人。好きな色は黒と茶色。「この服ではボレロのボタンとえりのレースが気に入っています。デザインのにはどちらかというとシンプルなものが好きです。アクセサリではリングが大好きとおっしゃる鶴岡さん、指にはさりげなくゴールドのリングが。趣味はドライブ、愛車は勿論ブラックです。今、やってみたいのはスキー、来シーズンには、渋くまとめたスキークウエア姿をレンタルで見られそうです。



健康的な笑顔が自慢のサークルです



一針一針仕上げるのが楽しみです



お母さんもこの日が楽しみです

親子体操クラブ  
高根公民館

「親と子供がともにできる運動を通して親子のふれあいを深め、同時に運動能力を高めていこう」という趣旨で発足したこの会。今年で10周年を迎えます。会員は現在25人ほど。音楽にあわせて親子で走ることから始め、徐々に激しい体操に移ります。「以前と比べて子供が丈夫になった。木曜日の朝になると子供がいきいきとしてくるんですよ。」と会員の皆さん。会場の講堂では子供たちが元気に喜んでる声が響き渡りとても明るい雰囲気です。対象は2歳児以上のお子さんをお持ちの方です。（連絡先：青山洋美 ☎47-9037）

みんなの広場

サ  
ー  
ク  
ル  
通  
信

あい・らぶ・ふなばし

クリスマスが盛り上がり  
らないのが不満です

利倉タニアさん  
（高根台3）



「主人の実家も近いし、お店もあるので普段の生活には不自由はありません。タニアさんはご主人とお子さんの4人家族。日本に来て3年になります。寒いのは苦手だそうですがなぜか雪は大好き、今年は十分楽しめましたとニコリ。日本食も納豆とアノコ以外は大丈夫。特にお寿司が大好きです。実家のお母さんとはお互いに料理を教えあっているお母さんでした。



ご主人

美しく研ぎ上がった刀を見て  
いると気持ち落ち着きます

村松一男さん（宮本3）  
（刀剣研磨師）

中学生のとき家の前の刀剣研磨師をまねて始めた刀研ぎが病みつきになり、以来65年間刀を研ぎ続けている村松さん。今までに研いだ刀は数万本になるそうです。「昔は、ろうそくの明かりで研ぎ具合を見ました。今はタングステン球。蛍光灯の光で見ると、実際より良く研げたように見えてしまうんです。やはり、いい地金を使った刀ほど研ぎやすいですね。」刀剣の研磨は、すべて手作業。さび落としから仕上げまで8種類の砥石を使い分け、仕上げるまでには普通の刀で1日8時間研いで4日、いいものは1週間もかかります。費用は1本15万円前後。刀剣ブームが去った今でも、月2本は仕事の注文があるそうです。



宮本公民館  
パッチワーク

「一つの作品を仕上げるのに時間はかかりますが、形として残しておけるのがいいですね。」と会員の皆さん。いつも和気あいあいと活動しています。サークルが始まったころは他にやっている所が少なく、試行錯誤の連続だったそうです。今では各自のレベルに合わせて、初心者と慣れた人のクラスに分かれて製作しています。ちょっとしたものから大作まで、自分だけの作品に皆さんもチャレンジしてみたいかたがです。（連絡先：津田昌子 ☎66-8243）



おなかの底から声を出す気分スッキリ

5月の定期演奏会にはぜひ遊びに来てください



塚田公民館  
ベルフィオーレ

ベルフィオーレが誕生して今年で5年。会員は現在17人です。練習は毎週金曜日の月4回。ただ今5月の定期演奏会に向けて特訓中。皆さん、各パートごとに先生のアドバイスを真剣に受けていました。「早くからステージで歌う楽しみを味わうことができた」とある会員の方。サークル名のベルフィオーレとは、イタリア語で「美しい花」という意味。みんなで美しい花を咲かせるように一つの音を創っていくことがとても楽しいとのことでした。（連絡先：古田邦子 ☎38-4130）

あとかき



3月3日宮本公民館講堂で行われた愛のふれあい広場

親子体操クラブの取材では子供たちが楽しそうに表情がとって、大人になっても忘れられない思い出が、また反面、純粋さを失っているのではと思っても、この子供たちの様子を少しも持たず、この場を去りました。

野鳥の撮影は本当に難しかった。この日も警戒心が強いせいか、なかなか姿を現わさないから、いざ見つけられ防止の三脚も動きが速いので使えない。ピントが浅い望遠レンズなので慎重に合わせたシャッターを切るとうまくフライングからいなくってしまふこともしばしば。それだけにうまく撮れた時の気持ちは最高だった。（賢）

ウグイスもすっかり歌が上手になり待ち遠しく春が来ます。今回の特集「春鳥の野鳥」の編集については日本野鳥の会千葉県支部の皆さん、そして丸山サンクチュアリー部の皆さんに絶大なご協力をいただき、無事終わらせて頂くことができました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。（司）

取材で清掃ボランティアをされている老人クラブの皆さんにお話を伺ったが、夏になると空気の量がグンと増えるそう。車からのゴミ捨てが社会問題になって久しいが「ゴミはゴミ箱に、ごみがまだいることが腹がたつた。皆さんご苦労様です。」（一）

京成大神宮下駅前の道がすっかり変わって、ついこの間まで道幅もかなり狭かった。ついでに道幅もかなり狭いから、風情を残しながらぎゅーと並んでいて、船橋の好きな道の一つだった。特集の編集でその写真が見つからず困ってしまった。結局使ったのは、便利になったその帰りの道を行く度に、フィルムの中の在処が気になって仕方がない。（雄）

投稿集中

フォトふなばしの各コーナーでは市民の皆さんからの投稿をお待ちしています。自薦他薦を問いませんので、どしどし応募下さい。



オーナー

山田雅夫君（宮本2）

僕はアライグマのトム。この4月でちょうど1歳になるんだ。自分で言うのもおかしいけど近所じゃちょっとした人気者。散歩は毎日3時ごろ、ご主人が小学校から帰ってくると連れて行ってくれるんだけど、みんな珍しそうに寄ってくる。犬君なんかキョトンとした顔をしてるよ。ところで僕は洋食党、ごはんよりパンの方が好きだな。デザートはリンゴやバナナが気に入っている。お風呂も好きで、週3回はシャワーを浴びてる。木登りも得意なんだ。でも寒さだけは冬の苦手。冬なんて大嫌い。でももう春だし、そろそろ恋人も欲しい。だれかいい相手紹介してください。



ペットインタビュー

3月10日  
全線開通

# JR京葉線東京駅へ直通!



JR南船橋駅、朝のラッシュ風景



全線開通に合わせて新型車両もお目見え  
(JR南船橋駅上りホーム)

3月10日(土)、JR京葉線の新木場-東京駅間(7.4km)が開業、蘇我-東京駅間(43km)全線が開通しました。この開通に伴い、ダイヤも改正され、運転本数も増発されるなど、千葉から都心への新しい動脈として大きな期待が寄せられています。また、武蔵野線も東京駅まで乗り入れることになりました。車両は、今までのものに加えて、ステンレス製の銀色の車体に鮮やかな赤いラインの新型車両も登場しました。南船橋駅から東京駅間を31分で結ぶ京葉線にあなたも乗ってみませんか。

スポーツで健康ふなばし  
こんにちは...



3月17日(土)、運動公園体育館で日本・韓国バスケットボールチャンピオンチーム交流試合が行われました。市内中学校の東西対抗戦に続いて行われた試合では、韓国の起亜産業が大接戦の末、日本の松下電器を1点差で破りました。